

令和6年度モニタリング評価実施による改善のための対応方針

施設名：大阪府立臨海スポーツセンター

評価項目	評価基準（内容）	評価委員会の指摘・ 提言等	改善のための対応方針	次年度以降の事業計画等への 反映内容	令和7年度の 進捗状況
Ⅱさらなるサービスの向上に関する 事項 (2)自主事業	①さらなるサービス向上の取組み	自主事業の参加者数低迷に係る外的要因を検証し、改善に向けた効果的な手立てを講じること。	自主事業の数値目標との乖離要因として、プロポーザル時と現在との状況の変化（感染症や物価高騰等）が考えられる。年々回復傾向にあるものの、生活様式が変化したこともあり、依然として厳しい状況が続いている。 新規自主事業参加者増加のための取組みとして、府内小中学校へのチラシ配布や、SNS等メディアを活用した広報を積極的に実施する。また、各種教室のキャンペーンの実施や、既存事業の見直し、新たな教室の開講を計画することで利用者層の拡大を図る。	自主事業の数値目標との乖離要因として、プロポーザル時と現在との状況の変化（感染症や物価高騰等）が考えられる。 改善に向けた手立てとして、府内小中学校へのチラシ配布や、SNS等を活用した広報強化を積極的に実施するとともに、各種教室のキャンペーンの実施や既存事業の参加者傾向（動向）を検証し、新規事業への入替等事業の見直しを行う。 また、新たな参加者獲得のため、新事業として、海外で人気のニュースポーツ（ピックルボール等）の体験教室を計画するなど、自主事業の利用者数増加及び収入の確保に努める。	今年度、新規自主事業として、ピックルボール教室を企画。4月には貸館事業でのピックルボール大会を実施した。引き続き、教室開催実現に向けて、SNS等を中心に広報強化に着手する。 また、新規利用団体誘致をきっかけに、現在高石市を練習拠点に活動を行っているハンドボールチームの「アルバモス大阪」に協力いただくことになり、7月から小学生を対象としたハンドボール教室を開催している。 GW期間には、1日イベントとして、スケート教室参加者を中心とした、スケート運動会を開催した。